

# 図書館利用方法について

## 利用時間

	通常開館日(月～金)	平日(授業のない日)	土曜日
開館時間	8:30～19:00	9:00～17:00	10:00～17:00
貸出・返却	8:30～18:45	9:00～16:45	10:00～16:45
閉架楽譜資料請求	9:00～18:30	9:00～16:30	10:00～16:30
※閉架資料返却	9:00～18:45	9:00～16:45	10:00～16:45

《休館日》・ 日曜日、祝祭日、創立記念日、入学式、卒業式、音楽祭  
・ その他 学校行事の日や館長が特別に定める日

※閉館 15 分前がその日の返却終了時間になりますので、貸出は更にその 15 分前で終了します。

時間に余裕を持ってご利用下さい。

## 館外貸出数と期間

図書館資料	短大生・学部生		大学院・特別研究生・専攻科生・教職員	
	冊数	期間	冊数	期間
図書	5 冊	2 週間	10 冊	4 週間
楽譜	5 冊	1 週間 (注1)	10 冊	4 週間
CD	5 枚	1 週間	10 枚	2 週間
映像資料※ (DVD・BD・LD など)	館内利用のみ	館内利用のみ	館内利用のみ	館内利用のみ

(注1) 大型アンサンブル楽譜は館内利用のみ(教員以外)

(2019/4/1)

SENZ@KU

洗足学園音楽大学・大学院  
洗足こども短期大学  
附属図書館

# 目次

I. 図書館の利用にあたって	開館時間および休館日 利用資格 利用上の注意 利用カードについて	1
II. 館内略図と資料内容		2
III. 資料について	所蔵資料(開架・閉架含め) 館外利用冊数と期間 返本台について 閉架楽譜の延滞及び資料の紛失について リクエスト申し込みについて 外部利用 予約について	4
IV. 複写について		5
V. 2階個室利用について	利用方法 利用目的	6
VI. パソコンの利用について		7
VII. データベース・電子ジャーナルについて		8
VIII. 図書館を利用される方へ		8

## I. 図書館の利用にあたって

本学図書館の概要や利用の方法について書かれています。よく読んで、図書館を有効にご利用ください。

### ■ 開館時間および休館日

表紙、館内掲示、図書館カレンダーまたは大学ホームページの[洗足学園音楽大学附属図書館カレンダー](#)をご覧ください。図書館の Twitter でもご案内しています。



図書館の Twitter

### ■ 利用資格

- 1) 本大学院、大学、短期大学に在籍する学生・聴講生・科目履修生および教職員
- 2) 本学研究所の研究生および教職員
- 3) 大学院特別研究生
- 4) 館長が特別に許可した者

### ■ 利用上の注意

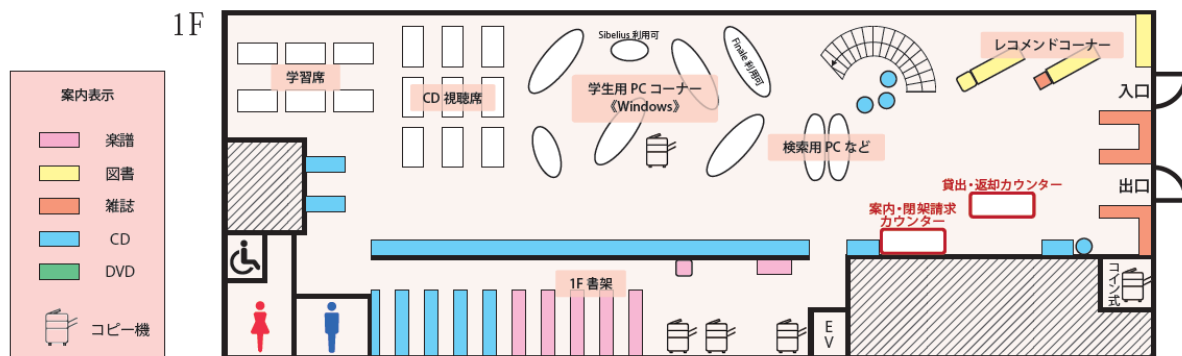
- 1) 図書館資料は汚したり破損したりしないように大切に扱ってください。  
※特に資料への書き込みや切り抜きはしないで下さい。
- 2) 機器の取り扱いは、注意書きをよく読んで丁寧に扱ってください。  
※機器を使用して個人の AV ソフト等を鑑賞するにあたり、機器の故障などによりソフトが破損しても図書館は一切の責任を負いません。
- 3) 館内では携帯電話の通話は禁止です。マナーモードに設定してください。
- 4) 館内では私語を慎んで、他の人の迷惑にならないようにしてください。
- 5) 館内への食物の持ち込みは禁止です。
- 6) 所持品を置いたまま長時間席を空けないでください。
- 7) 館員の指示があった場合は、指示に従ってください。

### ■ 利用カードについて

学生証および教職員のパーソナルカードのバーコードで資料の貸出・返却手続き等が可能です。学生および教職員の方は、図書館利用カードを、新たに作成する必要はありません。

## Ⅱ. 館内略図と資料内容

### 館内案内図



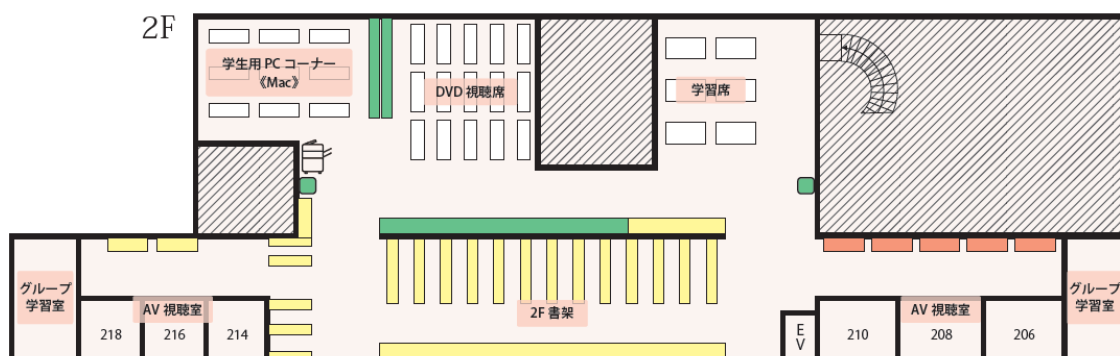
**レコメンド (図書)** 新着の音楽和書、一般和書、就職関連図書、教職課程推薦書、特集コーナーがあります。短大生向けの幼児教育図書、絵本コーナーも用意しています。

**開架楽譜** 1階の開架楽譜コーナーには和楽譜を中心に、約 17,000 冊の楽譜を配架しています。ピアノ・声楽・器楽・室内楽などの分野で主に作曲家順にならんでおり、各コースの推薦・課題曲も別にコーナーがあります。  
その他、ミニチュアスコアや洋楽譜も編成別に置いてあります。

**CD** 約 30,000 枚の CD がジャンル別にシールで色分けされています。棚の表示をよく見てお探し下さい。各ジャンル作曲家のアルファベット順ですが、複数の作曲家で構成されている CD などは曲の編成別・演奏者別、さらに細かなジャンル別に分類・配架されそれらは別途 2 段のシールで表示されて分類別に配架しています。

**閉架資料** 地下にある閉架資料(楽譜、CD、図書)については、利用したい資料を 1 階の検索・印刷専用パソコンにて表示し、レシートプリンタから印字したレシート 1 枚に記入して案内カウンターに申し込んでください。  
資料の貸出までには時間がかかりますのでご了承ください。  
資料の検索は、スマホ等で下記 QR コードからもアクセスできます。  
資料の検索 <http://weblime02.lib.senzoku.ac.jp/mylimesedio/top.do>





## 図書

2階の図書は音楽史コーナーが閲覧席側に配架され、裏側の書庫には、大学コース別および短期大学の図書コーナー、日本十進分類法に基づいた一般書と、より細分化して分類した音楽専門書に大きく分けて分類されています。文庫コーナーなどもあり、それぞれ本の背表紙に貼付されたシールの色で分かれています。

2Fにある本は、閲覧席で自由に閲覧できます。

## DVD

DVD・ブルーレイディスクの映像資料は館内利用のみで、著作権法の制限により館外への貸出はできません。館内にある再生機器で視聴してください。

2F DVD 視聴席は一人または二人で利用できます。

1F のカウンターで二人用ヘッドホン分岐ケーブルの貸出をしています。

### Ⅲ. 資料について

#### ■ 所蔵資料(開架・閉架含め)

資料別種	数量
図書	約 67,000 冊
楽譜	約 81,000 冊
AV (CD,DVD,BD,LP,LD)	約 79,000 枚
定期刊行物	210タイトル

#### ■ 館外利用冊数と期間

図書館資料	短大生・学部生		大学院・特別研究生・専攻科生・ 教職員	
	図書	5冊	2週間	10冊
楽譜	5冊	1週間 (注1)	10冊	4週間
CD	5枚	1週間	10枚	2週間
映像資料※ (DVD・BD など)	館内利用のみ	館内利用のみ	館内利用のみ	館内利用のみ

(注1) 大型アンサンブル楽譜は館内利用のみ(教員以外)

※ 開架資料は1階の貸出・返却カウンターでスタッフによる貸出・返却処理を行い、上記ルールを遵守して期日までに返却して下さい。

※ 地下の楽譜などの閉架資料はカウンターで請求票を出し、所定の時間(約15分後)以降に取りに来ていただいた上で、貸出・返却処理を行います。

#### ■ 返本台について

館内で利用した資料は、設置されている返本台に置いて下さい。  
ただし館外貸出した資料については、必ずカウンターで返却処理をお願いします。



#### ■ 延滞及び資料の紛失・破損について

##### 1) 延滞と貸出禁止

返却日に遅れた場合には、遅れた日数分貸出が停止となります。(閉館日もその数に含まれますのでご注意ください。)

##### 2) 紛失・破損

利用中の資料を紛失または破損した場合は弁償していただきます。弁償は原則として現物弁償ですが、品切れ、絶版などで入手困難な場合には時価にて弁償していただく事になります。

## ■ 学生リクエストの申込について(学部生・院生・専攻科生、短大生)

当館にふさわしいと思われる資料が所蔵されていない場合には、リクエストを受け付けます。館内設置のリクエスト専用パソコン(1階らせん階段下)からリクエストして下さい。

リクエストから利用可能になるまで約1~2ヵ月程度かかりますので予めご了承ください。

リクエストされた資料は、当館の購入方針に沿って翌月の選書委員会にて検討し、購入の可否や入荷状況を速やかに館内リクエストパソコン上でお知らせいたします。

### 【注意】

- 1) リクエスト資料数の上限は、一人につき一ヶ月5点まで、また年間で**15件**までとします。
- 2) リクエスト資料は、本学における学修に関連する図書・楽譜・CD・DVD等に限定します。
- 3) 金額・利用目的が審査項目の目安となりますので、備考欄に入力してください。  
(資料一点の金額の上限は**楽譜 20,000円未満**、**書籍、CD、DVD は 10,000円未満**です。)

## ■ 外部利用(他の図書館の利用)

本学図書館に必要な資料がない場合には、他の大学図書館を利用することができます。利用に際しては、紹介状の発行や複写依頼をいたしますので、案内カウンターに申請してください。

大部分の国内大学の紀要や最近の博士論文は機関リポジトリにてインターネットで公開されています。国内の学術論文の検索は、最初に、国立情報学研究所のCiNii (<https://ci.nii.ac.jp/>)で検索してみてください。

## ■ 予約について

図書館資料検索(OPAC)画面のマイライブラリにログインすると、図書資料に限り、貸出中の資料の予約が可能です。

マイライブラリの使用法は、SENZOKUポータル「Q&A・使い方」-「図書館ガイド」-「マイライブラリ」を参照下さい。



図書館資料検索画面

## IV. 複写について

図書館資料の複写は著作権法で認められた範囲内で行ってください

- ・図書館内のコピー機の複写目的は、自分の調査・研究のために認められています。
- ・公表された著作物であること(公表されていない著作物、たとえば修士論文などを複写するには著作者の許諾が必要です)。
- ・図書館内のコピー機は、図書館資料の複写を目的に設置していますので、私的なノート等の複写はできません。
- ・著作物の半分以上の複製を、1人につき1部のみ、複写が認められています。
- ・著作権保護期間中(著作権者の死後70年間)は、著作物の半分以上の複写はできません。  
(著作物の半分以上の複写は、著作権者の許諾を必要とします)
- ・雑誌に掲載された各論文その他の記事はその全文を複写することができますが、刊行後相当期間(次号が既刊となったもの、または刊行後3ヶ月を経たもの等)に限ります。
- ・視聴覚資料(CD・DVD等)の録音、録画はできません。

## V. 2階個室利用について

2階には、グループでの学習を主にした学習室(2室)とAV資料鑑賞をする個室(6室)の2種類があります。  
以下の方法でご利用下さい。

### ■ 利用方法

#### L204・L220:グループ学習室

入口に掲示してある大学院生の指導予定時間を除いて自由に利用ができます。

#### L206・L208・L210・ :ブルーレイ、DVD、CD の視聴・鑑賞等(3名以上)

#### L214・L216・L218

1. 1階貸出・返却カウンターにて入室者全員の学生証を提出して下さい。  
鍵をお渡しします。室内での飲食は禁止となっています。ご協力下さい。
2. 貸出時間は2時間です。延長したい場合はカウンターに申し出て下さい。  
空き待ちの利用者がいなければ1回のみ、1時間までの延長が可能です。
3. 授業や論文指導などでの利用はできません。
4. 機器を使用して、「個人の視聴覚資料」を視聴し、機器の故障などにより  
持ち込まれた資料が破損等しても、図書館は一切責任を負いません。
5. 椅子等を動かされた場合は、必ず原状復帰し、施錠をして1階貸出・返却カウンターに鍵  
を返却して下さい。その際に学生証を返却します。学生証はご本人に手渡しますので、  
途中退室等がある場合は、1階貸出・返却カウンターに申し出をし、受け取ってから退  
出をして下さい。



## VI. パソコンの利用について

### 1) 検索用パソコン

- ① 資料検索用(OPAC)本学の図書館に利用したい資料が所蔵されているか、タイトル(書名、曲名)や作者(著者、作曲家)から検索するときに使用します。
- ② 洋楽譜専用(Aシステム)検索用パソコン  
所蔵する楽譜のうち洋楽譜のみに対応し、「編成」から検索できるように整理した本図書館独自のシステムです。

### 2) パソコン(1F Windows / 2F Mac)

学生用のパソコンは基本的な操作方法を知っていれば、学習や研究、あるいは学生生活や就職のための情報収集等自由に利用できます。また、SENZOKU ポータル、洗足メールの利用もできます。

### 3) 複合機への印刷

図書館内のパソコン(1F Windows / 2F Mac)から印刷したファイルは、当日に限り学内の複合機どこからでも印刷(プリント)できます。印刷には、モノクロ 1 枚につき 1 ポイント、カラー 1 枚につき、5 ポイントが必要です。

(複合機の場所: 図書館内、アンサンブルシティ 1F、ブラックホール 1F、e キューブ 1F、キッズスクエア 2F)

複合機のポイント追加が必要な方は、e キューブ 1F の証明書自動発行機で、「複合機ポイント交付願」を発行の上、図書館カウンターで申し込んでください。

なお余ったポイントについては期中・期末にかかわらず清算(現金による払い戻し等)はできません。

以下の注意点を遵守のうえ利用してください。

#### 注意

- ・ 学業(学習、研究、学生生活、就職活動)の目的に限り利用できます。
- ・ パソコン及びインターネットの不正利用はしないでください。
- ・ 個人的なデータを保存する場合は洗足メールの Google ドライブまたは USB メモリーなどに保存してください。  
(パソコンのデータは不定期に削除することがあります。)
- ・ 利用が終わったら必ず利用前の状態に戻してください。

## VII. データベース・電子ジャーナルについて

大学図書館に来館することなく、学修・研究に必要な各種の音源・映像・楽譜・電子ジャーナル等の利用が可能です。

### データベース・電子ジャーナル等の利用上の注意点

データベース・電子ジャーナル・電子ブック(以下、電子リソース)の利用にあたっては、出版者・提供元とのライセンス契約において、守らなければならない事項が定められています。

一般的に次の行為は厳しく禁止されています。

- ・個人の学術研究・教育目的以外での利用
- ・大量ダウンロード
- ・複製・再配布
- ・著作権の侵害

契約に違反する利用があった場合、それが一個人の不注意な行為であったとしても、洗足学園音楽大学からのアクセスがすべて停止されることがあります。その他、各電子リソースの提供元が定める利用規程・利用条件、著作権に関する注意事項を遵守してご利用下さい。

アクセス方法は下記を参照ください。

名称	概要
Naxos Music Library (NML)	クラシックを中心に CD 11 万枚相当の音源配信 ※(パソコンおよびスマホ対応) サイト: <a href="http://ml.naxos.jp/">http://ml.naxos.jp/</a> ※指定の ID にてご利用ください。
以下のサービスは SENZOKU ポータルへお気に入りタイトルの 「【大学・院】図書館新外部 DB」からご利用ください。 学生の方は SENZOKU ポータルの ID とパスワードが必要です。	
Naxos Video Library	世界の歌劇場、バレエ団、オーケストラ、アーティストの演奏を視聴できる音楽映像ライブラリー ※(要 Adobe Flash Player パソコン・Mac のみ)
Oxford Music Online	ニューグローヴ・世界音楽大事典・オンライン(英語版) The New Grove Dictionary of Music and Musicians (ニューグローヴ世界音楽大辞典英語版第 2 版)の 29 巻分の全文に加え、Grove のオペラ、ジャズ、アメリカ音楽事典を収録
MGG online	ドイツ語音楽専門事典 Die Musik in Geschichte und Gegenwart。 冊子体 Die Musik in Geschichte und Gegenwart 第 2 版(1994-2008 年刊行、全 29 巻)の 19,000 強の項目をベースに、随時改訂、修正と新項目の追加を行っていく”改訂新版”です。
Oxford History of Western Music	音楽学者、批評家として世界的に著名な Richard Taruskin 氏による西洋音楽史書のオンライン版
Music Online: Classical Scores Library: Volume I	主要な作曲家(Bach, Schubert, Mozart, Handel, Beethoven, Liszt, Brahms, Chopin) を含め 24,367 曲のクラシックの楽譜を閲覧

名称	概要
Music Online: Classical Performance in Video	クラシック音楽 1,600 公演(オペラ 200 公演、ダンス 75 公演を含む)の映像を 閲覧
JSTOR	海外の音楽関連学術雑誌の全文を閲覧可。(ただし、最新刊(1~5年)を除く。 <a href="#">掲載誌一覧</a> )
ProQuest Dissertations & Theses Global: The Humanities and Social Sciences Collection	88ヶ国の1,700以上の大学の人文社会の論文データベース。1997年以降のアメリカ・カナダの大学のほとんどの博士論文の全文が閲覧できます。1980年以降の博士論文は350文字の抄録、1988年以降の修士論文は150文字の抄録が含まれます。
RILM Abstracts of Music Literature with Full Text: EBSCOhost	世界各国の音楽学書誌データベース。20世紀初めから現在までの50ヶ国の200誌以上の雑誌については全文が閲覧可能。
RISM Series A/II: Music Manuscripts after 1600: EBSCOhost	22,500人を超える作曲家について、世界32か国800以上の図書館や資料館所蔵の楽譜情報を657,000件以上収録する、楽譜の目録です。
OpenDissertations : EBSCOhost	20世紀初頭から現在までの大学院研究の引用・参考文献リストを収録。
ebooks:EBSCOhost	大学で購入した電子書籍(洋書)と著作権フリーの3,400冊の電子ブック(洋書)
聞蔵Ⅱビジュアル	朝日新聞1985年以降の記事データベース。AERA、週刊朝日のニュース記事も閲覧可。
Early Music	Oxford University Press社の電子ジャーナル(JSTORでは2013年以前出版閲覧可能)(RILMでは2016年以前出版閲覧可能)
The Journal of Musicology	University of California Press社の電子ジャーナル(JSTORでは2015年以前出版閲覧可能)
Journal of Research in Music Education	全米音楽教育協会の電子ジャーナル(JSTORでは2015年以前出版閲覧可能)
Twentieth-Century Music	Cambridge University Press社の電子ジャーナル

(JSTOR、RILMの掲載情報は2019年1月現在)

## VIII. 図書館を利用される方へ

図書館の資料は希少価値のあるものや絶版になっているものも多く、利用者全員の財産です。利用に関してはマナーを守り、他の利用者に迷惑をかけないよう御協力をお願い致します。



図書館ホームページ 大学 <http://www.senzoku.ac.jp/music/about/library/index.html>  
短大 <http://kodomo.senzoku.ac.jp/support/library.html>  
図書館 Facebook [https://twitter.com/Senzoku\\_Library](https://twitter.com/Senzoku_Library)  
図書館 Twitter [https://twitter.com/Senzoku\\_Library](https://twitter.com/Senzoku_Library)